# Library News

大山崎中学校図書館

令和４年　10月

## 秋は読書にいい？

スポーツの秋、芸術の秋、食欲の秋、と言うように、〇〇の秋というフレーズが日本ではよく聞かれます。もちろんその中に読書の秋というのがあります。秋はどうして読書にいいのでしょうか？一般には秋は日照時間が短くなり、長い夜には読書が最適だ、と言われています。これは８世紀の中国の韓愈（かんゆ）の漢詩、「符読書城南詩」が由来となっています。この中の「燈火稍可親　簡編可巻舒」（灯りに親しみ、書物を広げるとよい）という一節を明治の文豪、夏目漱石が『三四郎』という小説の中で引用したことから日本で広く根付きました。山中も体育大会や文化祭と１０月は行事が盛りだくさんですがその合間に身体を休めて静かに読書をするのも良いでしょう。

## 購入希望の本を購入しました。

生徒から希望のあった本３冊を PTA の図書援助費より購入しました。読みたい本が図書室に無い場合、ぜひ司書に相談してみてください。すべての希望の本を購入するわけではありませんが、できるだけ皆さんの「読みたい！」という気持ちに寄り添っていきたいと考えています。

『レゾンデートルの祈り』楳　一志
安楽死が合法化された世界で、安楽死希望者と面談をするアシスター、眞白を主人公として生きる理由を問い直す意欲作。
TIKTOK で話題となりました。

映画 ONE PIECE FILM RED の原作

『ジョジョの奇妙な冒険』より関連作品の小説
『恥知らずのパープルヘイズ』

# 新着本

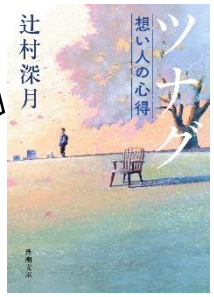
**『腹を割ったら血が出るだけさ』　住野よる**

高校生の茜寧は人に愛されたいがために、自分の本心を隠し、常に計算して行動している。そしてそんな自分が大嫌いだ。こんな自分から抜け出したいと思う茜寧が心酔するのは自分とそっくりな主人公が描かれる『少女のマーチ』という小説。ある日茜はすれ違った人に驚く。その人は小説から抜け出したかと思うほど登場人物にそっくりだったのだ。思わず茜寧は後を追いかけるが…

**『両手にトカレフ』**
**ブレイディみかこ**

**『ツナグ　想い人の心得』**
**辻村深月**

一度だけ死者との再会を叶えてくれる使者、ツナグ。辻村深月のベストセラー『ツナグ』の続編。今回は代理で依頼を頼みに来た若手俳優や、戦国時代の人物に会いたいと言い出す老人等々。どんな物語が紡がれるのか…




ミアの家庭は問題を抱えている。母はアルコールと薬の依存症で働けず、まだ幼い弟の面倒も見ない。だから、何？それでも私は生きていかなきゃなんない。そんな中、ミアは一冊の本と出会う。それはカネコフミコという 100 年前の日本の少女の自伝だった。フミコは私だ！ミアは夢中になって本を読み始めるが……

**『汝、星のごとく』凪良ゆう**

依存症の母と一緒に瀬戸内海の小さな島にやってきた櫂。父に捨てられ、精神を病んでしまった母を支える暁海。17 歳の二人は激しく惹かれあい、自由にあこがれ、島を出ようとするが…互いを求め、懸命に生き、それでもすれ違っていく二人の心を追う珠玉の恋愛小説。

**『世界は「」で沈んでいく』**
**櫻いいよ**

ひとりで過ごすのが好きだった。なのに、いじめられてるんじゃないか、と誤解されて転校させられた。今度は失敗するわけにはいかない。友だちをつくるんだ。そう決心して学校生活をがんばる凛子だったが、次第に疲れてきて…

**司書のひとりごと　昨日の本棚から**

**『カレーの時間』寺地はるな**

このおじいちゃん、ちょっぴり義父に似てる、そして孫の静かな青年、ちょっぴり息子に似てる…。読み始めてすぐそう思いました。昭和の気質そのままに、声がでかくて、短気でちょっと威張った祖父。一人暮らしは危ないから一緒に住もうという娘たちを拒否して、祖父が指名したのは唯一の男の孫、桐矢。桐矢となら一緒に住んでもいいと言い出します。桐矢はびっくり仰天。なんで僕？　でも同居を続けるうちに祖父が心にずっと秘めていた思いに気づき……レトルトカレーが食べたくなる暖かな家族の物語。でも、脳内変換でずっと私自身の義父と息子が同居している絵になってしまって、笑えるような、笑えないような何とも言えない時間でした。